

広報 皐ヶ丘

SATSUKI News letter

2026
6



皐ヶ丘自治会

■住所 皐ヶ丘 3 丁目142番地

■TEL&FAX 64-2834

✉ stkjichi@ma.ctl.ne.jp

皐ヶ丘自治会
ホームページ



2026 春の花いっぱい運動 開催



6月の予定

6日(土) 執行委員会

21日(日) 役員会

自治会草刈り活動

1日~30日

日赤協力会費・社協会費の募集

今年も5月10日(日)に春の花いっぱい運動が開催され、多くの住民の方に参加して頂き、みんなでこの皐ヶ丘の美化活動を行うことができました。

天候にも恵まれ、1,274名と非常に多くの方に参加いただき大変感謝しています。

終わった後に見て回りましたが、公園や沿道をはじめいろいろなところがとてもきれいになっており、マンパワーのすごさを実感しました。あらためて素晴らしい活動だと思いました。

皆様の改善要望、ご意見も多数ございましたので、できるところから改善し、次回以降の活動がよりよくなるよう努めてまいります。

今後も皐ヶ丘地区の環境美化維持のため、ご協力をよろしくお願いいたします。

皆様、本当にお疲れさまでした！



不法投棄は犯罪です

5年以下の懲役もしくは
1,000万円以下の罰金
またはその両方

4月17日に不法投棄の現地調査を行いました。

可児市環境課2名、環境美化推進指導員、環境保全サポータの会、草刈り倶楽部、会長と副会長で4,5丁目北側ガードレールの外側を調査しました。

「不法投棄は犯罪です」の看板が5,6本立ててある所の西側に数カ所、枝葉の山がありました。枝葉の山は小さい昆虫の格好の住処になります。

可児市環境課から監視カメラを設置する案も出ています。

皐ヶ丘の北と南と西のフェンスやガードレールの外側に物を捨てないでください。

1丁目西側、4,5丁目北側の不法投棄物の回収は、市の環境課が予定を立てて行なうそうです。

可児市のホームページにごみの処分の仕方が載っていますので確認して適切に処分してください。

庭木の剪定（枝）をしたら…

- ・枝（幹など）の太さ3cmまでのものは可燃ごみで出してください。
- ・枝（幹など）の太さ3cm以上10cmまでのものは不燃ごみで出してください。

大量に出た場合や10cm以上の枝（幹、根）などが出た場合は、専門の取扱業者へ事前にお問い合わせください。

- ・対象：せん定枝、幹、根などの樹木、草、竹
- ・禁止物：金属やプラスチックビニール等が付着したもの、薬剤処理されたもの

軽スポーツ体験会

ワンバウンドバレー & ボッチャ

日時：6月21日(日)9:00～12:00のご都合のいい時間

場所：桜ヶ丘地区センター体育室

準備：体育館シューズ（上履き）、動きやすい服装、水分補給用の飲料

費用：無料

受付：当日、地区センター体育室に集合！

どなたでもご参加いただけます

※参加賞あり！お気軽に遊びに来てください



主催：桜ヶ丘地区体育振興会

草刈り倶楽部の活動報告

5月3日（日）8丁目ロータリー公園にて花いっぱい運動前の草刈り活動を行いました。今回は16名の方に参加をいただきました。執行部からも参加をいただき、協力的に動いていただきました。前期環境委員の方にも入部いただき、心強い限りです!! 皆さま、ありがとうございました。今期もよろしくお願いいたします。



5月6日（水）9丁目ロータリー公園にて草刈り、枝の伐採を行いました。
多くの応援をいただき15名の参加者と（未来の）部員候補2名で実施いたしました。皆さま、お疲れ様でございました。



5月9日（土）6-7丁目の緑道歩道の草刈りを行いました。
応援の方も含め9名に参加いただきました。環境部員の方にも参加いただき、ありがとうございました。

「自治会草刈り活動実施」

日 時：6月21日(日) 8:30～

集 合 場 所：桜ヶ丘地区センター駐車場

草刈り場所：8, 9丁目沿道

皆様の参加をお待ちしています!

ご協力をよろしくお願いいたします



2026年 桜ヶ丘ハイツ夏まつり

開催日時：2026年8月1日（土）17:00～21:00

雨天の場合、順延8月2日(日) 17:00～21:00

開催場所：桜ヶ丘地区センター駐車場

第2回役員会開催

4月19日(日)18時より第2回役員会を開催しました。主に「自治会費集金方法について」「花いっぱい運動について」を執行部より説明し、協力を求めました。班長マニュアルをしっかりと読み込んでくださる方も多く、執行部も前任者からの引継ぎだけではなく、内容を理解することが大切だと気付かされる場面が多々ありました。これからも執行部と班長が積極的に意見交換し、皐ヶ丘自治会を盛り上げていけたらと思います。

皆さま、お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございました。

次回もよろしくお願いいたします。



皐ヶ丘周辺の 歴史風土記 第2回

『宮本武蔵』

齊藤千勝

宮本武蔵の伝承は美濃に幾つかあります。郡上市の藤路の桜は武蔵がこの地の民家に逗留(とうりゅう)し、そのお礼に1本の山桜を植樹したとあります。

八百津の正伝寺には武蔵が愚堂東寔を慕い当寺を訪れたとされ、寺宝として武蔵が書いたとされる阿吽龍を所有しています。また同じ八百津の大仙寺には剣の修行中であつた武蔵は沢庵和尚について禅の修行も行っていたが沢庵和尚が晩年を迎え美濃の大仙寺の愚堂の所で修行することを勧めました。この時の坐禅石が残っているといわれます。

また武蔵は、五宝の滝の二天の滝や円明の滝でも修行したとされています。しかし尾張藩および近隣の美濃高須藩(西方石津)との交流、島原の乱へ武蔵が出陣する際に、直前まで江戸に滞在していたことが伝えられているくらいが史実の武蔵の東国での行動ですので、美濃に滞在されたのかは不明です。それでも美濃に多くの伝承が残された所以はあります。

それは武蔵と交流があつた高僧の愚堂東寔のおかげです。愚堂東寔は臨済宗妙心寺派の本山第137世住持で諡号を大円宝鑑国師といいます。

美濃国大森(現在の岐阜県山県市大森)の出です。後水尾天皇や徳川家光、保科正之、春日局など多くの公家、武家から帰依を受けています。武蔵も青年期に妙心寺にいた愚堂のもとに参禅しています。その愚堂が正伝寺の住職もしましたし、大仙寺の住職もされたのです。武蔵についての話しに瓢鮎図というものがあります。瓢箪で鮎をとるというものです。この場合、鮎とは鯰(なまず)です。鯰は国字なので中国語で書いています。瓢箪でどうして鯰をとるのでしょうか。武蔵にはこの絵が目にとまったようです。武蔵自作とされる剣の鐔(つば)のデザインにつかつたのだとか。次回の話は中川寺です。

